



今月のみさとし/自分を偉いと思うから不平が出ます。馬鹿と思えば楽でよい。〔「ご聖訓」第六巻66頁〕

5月度研修・修法研修

## 秘義三法を更に幅広く研鑽



5月28日・29日、御霊地の解脱研修センターで修法研修が開催され、計33名が参加した。まず大賀光夫修法部長が、「御五法修業の仲介者育成に留まらず、金剛さまのご生涯やお言葉などからご精神に触れつつ秘義三法を更に幅広く学び、教えを実生活で実践する人を増やすこと」を目的に、「仲介者養成コース」から研修名を変更した趣旨を説明。その後、岩田始修法部次長の講義、お浄めと御五法修業の実修と続き、参加者は研鑽しつつ更なる向上と教区や支部での実践を誓い合った。

黒姫出張所・御守護神祭

## 今年も良質な天茶を期待



長野県信濃町の黒姫出張所にて5月20日、第52回黒姫弁財天及び第50回天囃蔵五柱五成の春季例祭が執行された。今回も、新型コロナウイルス感染防止のため岡野英夫理事長をはじめ本部役員のみで行われ、出張所職員をはじめ耕作者組合の方々が健康で天茶生産に取り組めるよう神々へ厳かに祈りを捧げた。

残雪を被った黒姫山の麓で栽培されている天茶の新芽は今年も順調な伸びを見せ、しかも例年より成長が早いとの報告があり、良質な天茶の収穫が期待される。

第17回 下仁田大日如来・四柱大神様祭典

## 御鎮座の喜びを分かち合い



待ち望んだ晴れの日を皆で寿いだ

晴天に恵まれた5月24日、第17回下仁田大日如来・四柱大神様祭典が群馬・埼玉教区で構成する下仁田大日如来祭典委員会主催、解脱会本部協賛のもと執り行われた。新型コロナウイルスの影響で3年ぶりに参加者を募り開催した今回は、御祭神を群馬県甘楽郡下仁田町の山林中腹から新たに荒船神社下の土地に奉斎鎮座し、本会代表の倉田正治理事、荒船神

社・中野靖宮司、地元関係者の来賓と関東一円の会員93名が集った。

御祭神は昭和15年、下仁田の山中に尊者が斎祀された大日如来と、天五色大天空大靈魂、天八大龍王大靈魂、天大圀主大靈魂、天地表裏姫廻鬼門大靈魂の四柱。式典に先立ち、御霊地に仮安置されていた御祭神は、午前7時より道場にて祭典副委員長の山崎正道埼玉教区長のも



倉田理事が鎮座の儀のお役目にお使いいただいた

と仮殿遷座の儀を執行。御祭神を下仁田町へ捧持し、午前10時、本殿竣工鎮座の儀にて御祭神が奉斎鎮座された。

午前11時、開式。祭典委員長の荒木友充群馬教区長は挨拶で、実行委員会では、会員が山林の社へ足を運び辛い状況が改善されることを願っていたところ、社の裏手の倒木を機に、地元の理解を得て本会所有の土地に滞りなく遷座できた経緯にふれ、今般の運びに関わった地元関係者、実行委員に謝意を表した。来賓を代表し倉田理事は、地域の更なる発展を期待するとともに、神々様の御加護を頂き、共に世相善導・人心救済に邁進することを述べ祭典が終了。参加者一同、記念の祭典に立ち会えたことを寿いだ。



# コロナ禍を経て3年ぶりの法要



法要を終えて記念撮影

御寺泉涌寺・霊明殿にて6月4日、御寺泉涌寺護持会結縁報告・会員各家先亡諸精霊追福法要及び表彰式が上村貞郎長老猊下を導師に執り行われた＝結縁者・表彰者の氏名

は下記。同法要は一昨年からのコロナ禍の影響により、会員が参加して行われるのは3年ぶりであった。

眩しい日差しが降り注ぐ晴天に恵まれた当日、岡野英夫理事長はじめ本部役員、結縁者、表彰者が霊明殿に入室し、午前11時より法要が始まった。職衆の厳かな読経が響く中、参加者一人ひとりが進み出て焼香。続いて藤原博内務局長の先達により勤行、皇祖皇霊に対して真心からの般若心経が捧げられた。

その後、上村長老猊下より結縁者に結縁之証と折五条



表彰者には長老猊下より感謝状が授与

が、表彰者に感謝状と記念品が授与された。上村長老猊下は挨拶にて「普段の歴代天皇皇后様の御回向では宮家の御安泰を無言で祈願するが、本日は皆様のために初めて有言にてお勤めした」と述べ、コロナ禍が続く中で足を運んだ参加者に謝意を表された。最後に霊明殿のお庭で記念撮影が行われた。

## 令和4年 護持会 結縁者

齊藤 和雄(南新宿) : 飯田 邦子(名古屋鳴海)  
森川 愛子(名古屋鳴海) : 馬淵 一寿(福井加茂河原)

## 令和4年 護持会 表彰者

割田 祐治(群馬名久田) : 朝比奈 憲一(指ヶ谷)  
高島 幹典(埼玉北本宿) : 加藤 眞一(名古屋太閤通)  
松田 佳高(三鷹連雀) : 服部 貴美子(名古屋香呑)  
吉田 忠雄(中野上高田) : 伊藤 厚雄(滋賀守山)  
大木 節子(下馬) : 山田 清恵(大阪松虫)  
大木 信子(下馬) : 安永 安久(姫路天満)  
田中 喜夫(御徒町) : 笹倉 範久(丹波山南)

## 御寺泉涌寺護持会員の申込について

- 趣 旨：解脱金剛尊者のご遺志に則り、泉山護持会員を募り、その会費を御寺泉涌寺に献納して泉山護持の精神を具現化するもの。
- 護持会費：年額 10万円又は5万円（一括納入）
- 納入方法：入会時は会員申込書に会費を添え、支部を通して納入ください。次年度からは本部より納付書を送付いたします。
- 献納時期：11月 御年祭時
- 篤志奉納者：継続会員でなく、希望により任意に納める方のこと。随時受け付けております。金額は10万円又は5万円（一括納入）。※詳細は本部・総務部（03-3353-2191）までご連絡ください。

## 東京第4教区・洗足池弁財天例大祭

# 厳粛に感謝の誠を捧げ

5月22日、東京第4教区の奉賛により東京都大田区南千束の洗足池弁財天において第53回洗足池弁財天例大祭が開催された。今年も新型コロナウイルス感染防止のため、教区役員と支部代表者のみに現地参加者を限定、行事



洗足池弁財天を参拝する参加者

内容も縮小された。当祭典は、「洗足池弁財天に感謝の誠を捧げ今後の精進を

誓う。教区、女性部、青年部の一致団結を図り、世界平和のためにお使い頂けるよう精進する。地元住民との交流を深め、より多くの人が解脱のみ教えにご縁をいただけるように活動する」を目的に、毎年開催されている。

当日は、千束八幡神社・恵良彰紀宮司の祭主のもと厳粛に行われ、まず奉斎の儀では、修祓、献饌、祝詞が奏上された後、各支部の代表が玉串をうやうやしく奉奠した。続いて、参加者一同が感謝の天茶供養を捧げた。

祝辞では恵良宮司から丁重



祝辞を述べられる恵良宮司

なお言葉を賜り、宮崎達郎教区長が謝意を述べた。

なおこの日、インターネットを經由して行事の様子がライブ配信され、現地へ参列できなかった多くの会員が画面を通して心を寄せた。

## 齊藤重信元相談役 ご逝去



齊藤重信（元相談役・大久保支部長）先生が、6月11日に霊界入りされた。享年90歳。

先生は昭和7年5月東京に生まれ、父・齊藤重保氏

（尊者のもとで第二次指導員として活躍）より同45年に大久保支部を継承。同56年に布教本部員に就任後、全国の支部へ出講され、その重厚で強い信念が込められた講話と指導によって多くの会員を導くなど、布教活動に尽力された。

その一方で、研修所長、教務部長、布教審議員、理事、常任理事など本会の要職を歴任され、平成21年4月からは相談役を務められた。

## 愛知教区・女性大会

# 2年ぶりの開催に笑顔満開

愛知教区では4月24日、2年ぶりに女性大会を開催した。会場の豊橋八町支部には再会を喜ぶ参加者30名が集い、「のぼそう健康寿命」をテーマに、出講の柴山晴美健康指導委員より「食事と天茶」「健康寿命を延ばす、生活習慣」との講話があった。

柴山指導員は、免疫力を高める食事の摂り方、天茶の薬効に触れながら飲料などで生活の中でも天茶を活用する利点、また誤嚥を防ぐ姿勢と体



操法を具体的に述べ、参加者は熱心に耳を傾け学んだ。その他、コロナ禍における正しい手指の消毒法や手洗い法も述べ、参加者から「今日からでも生活に取り入れられる」と好評を博した。

## 東京第1教区・子供大会

# 天高く沸き上がる歓声

5月29日に北本スポーツセンターにて、東京第1教区主催の下、教区子供大会が開催され、約200名が参加。雲一つない晴天の中、教区こども会が中心となり女性部や青年部、担当幹事で協力し合い親子で作上げたペットボトルロケットが空を駆けた。

午後1時半より神明稲荷神社前にて拝礼行事を執り行い、内藤憲一教区長が挨拶を述べた後、健康指導担当員の指導の下、解脱3分間体操が行われた。その後、子供代表によって選手宣誓がなされ、各支部33チームに分かれて各々が工夫を凝らして製作し



晴天下、ペットボトルロケットを家族で楽しむ

り、会場は大いに沸き立った。

表彰式では飛距離部門の他、デザイン部門やチームワーク部門、和ませたで賞の表彰を行い、終礼行事をもって大会は無事終了となった。

たロケットを、順番に専用の発射台に装填して打ち上げた。中には100メートルを越す距離を飛ばすチームもあ

ザイン部門やチームワーク部門、和ませたで賞の表彰を行い、終礼行事をもって大会は無事終了となった。

## 北海道々南教区

# 研鑽を積み士気を発揚



修法研修

北海道々南教区の会員らが、札幌道場で開催された各種の研修会において研鑽を積み士気を高めた。

4月24日、本部より岩田始修法部次長が出講し17名が参加した前期修法研修会では、まず挨拶に立った鈴木秀男教区長から、秘義三法の尊さをより深めるこ

とを目的に開催する当研修の意義を心に刻んだ。

さらに、今後の活動に活かすべく岩田次長による講義とお浄めと御五法修業の実修を通して学んだ後、活発に感想や意見などをお互いに交換。参加者は一人でも多くの人を豊かな未来の実現につなげるべく御五法を活かしていこうと誓い合った。

5月22日、正午より幹事研修、午後2時より支部長研修をそれぞれ開催。両研修には、本部より山本吉朗指導員が出

講した。

幹事研修には29名が参加し、山本指導員から新型コロナやウクライナ侵攻など混沌とする現社会における支部での学びや一人ひとりの祈りの大切さの学びを深め、参加者には充実した時間となった。

支部長研修会には14名が参加、中には後継者も参加し



幹事研修

た支部があるなど新時代に向けた研修内容の相応しいものとなった。

出講の山本指導員は、次世代に向けての人材育成、特に若い女性の活躍の場の

提供の大切さを述べ、支部長たちは今後の支部運営について学びを深めた。

北海道々南教区の会員らは現在、更なる伸展に向けて意気込みが高まっている。



支部長研修



京都洛東支部・創立80周年記念感謝会

# 伝統ある支部の歩みを土台に



支部の更なる一步を歩いで

6月4日、京都洛東支部創立80周年記念感謝会が、岡野英夫理事長はじめ来賓参列のもと開催された。コロナ禍を鑑み、大々的な祝賀会は行わず、支部道場を会場とした簡素な形での開催となったが、開式前より御神前は楽しみに歓談する支部会員たちで賑わい、終始和やかな空気に満ちていた。

同支部は昭和17年、荒井兼三氏が京都で初の支部とし

て「京都支部」を創設した。同29年に壬生支部となり、同40年には京都洛東支部と改称。平成6年、支部長霊界入りのため、娘婿の荒井弘氏が2代目支部長を継承し、同18年には長男の荒井昇氏が3代目支部長に就任して、現在に至る。

開式に先立ち、解脱金剛尊者例月御命日法要と支部開設以来先亡者に対する供養が、荒井支部長先達のもと厳修さ



会員一同より支部長夫妻へ花束贈呈

れた。

午後1時半より開会。拝礼行事に続いて挨拶に立った荒井支部長は、支部が80年という節目を迎えられた感謝を述べ、「伝統ある支部の歩みを土台とし、思いやりある温かい大きな家族として、今後も皆様の集まりやすい支部にしていきたい」と語った。来賓の柴田正美関西道場長の祝辞の後、現支部長の母で初代支部長の娘にあたる、今年87歳の荒井二三子さんより、支部80年の歴史を語る体験発表があった。



荒井二三子さんが体験発表。実父である荒井兼三・初代支部長の貴重な思い出に始まる荒井家の歩みと共に、支部の草創期から今日に至るまでの歴史を振り返った

記念講話では岡野理事長が教えるの基本である因果の法則について説き、「過去の結果として試練を頂いたなら、その芽を刈り取る力が自分にあると神先祖に認められている証」として会員らの更なる学びの前進を期待された。終礼行事後は田中英次京都教区長の発声で万歳三唱。最後に、日頃より陰に日向に支部を支える荒井支部長夫妻へ支部会員一同より感謝の花束が贈られ、温かい拍手と共に閉会となった。

また記念感謝会に際し、同支部所蔵の貴重なご真筆や尊者肉筆のお手紙の数々が支部の一室に特別展示された。

## 滋賀教区・健康指導研修会

# お導きのために



滋賀教区では3月12日、長浜神前支部にて健康指導研修会を開催し、本部より堀川剛指導員が出講、15人が参加した。滋賀教区では、金剛さまのご精神を支部から家庭、地域へと広げるためには健康指導が非常に有効と捉え、その第一歩として「支部で健康指導を伝えられる人材の育成」が当研修の目的。

参加者は、日常で起きやすい、肩、膝、腕、股関節の痛みを和らげる技術を習得しながら、指導する堀川指導員の姿から真心で温かく人と接する大切さを学び、10月2日に開催する次回の研修には、新たな仲間にも声をかけて共に参加することを誓い合った。

# 第19回実践作文コンクールの案内

新型コロナウイルスの影響が続いており、昨年と同様、直接本部へご応募ください。

- 開催目的 ○本年度の実践目標「家族の時間を大切にしましょう」の推進  
○人や社会とのつながりを感じ「ありがとうの気持ち」を表現する
- テーマ 「私のまわりのありがとう」 ※作文の題名は自由。
- 対象 解脱会員子弟（小学生）
- 応募要項 400字詰め原稿用紙3枚以内  
※応募用紙に必要事項を記入し、作品に添付してください。応募用紙は解脱会HPからも入手可。
- 締め切り 9月15日解脱会本部必着 ※必ず支部に報告の上、応募ください。
- 入選発表 11月1日付本部通信  
※入選者には賞状と賞品を授与。参加者全員に参加賞を贈呈。
- 応募先 〒160-0007東京都新宿区荒木町4（宗）解脱会「実践作文コンクール」係  
※詳細は6月1日付本部通信、または解脱会ホームページ。



# 御霊地で清掃奉仕を！

年間を通じて、行事開催日以外は受入れます（個人でもグループでも可能）

- 奉仕時間 9：30～16：00の間でご自由にご計画ください
- 奉仕内容 ○お山および各施設の草取り、落ち葉掃き ○各施設内の清掃  
※作業場所・内容についてはご相談のうえで。
- ご連絡先 原則として事前にお申込みください。その他、詳細についてのお問い合わせは下記までご連絡ください。

御霊地管理部 TEL：048-591-3711 E-mail：kanribu@gedatsu.or.jp

